

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	土木部
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	1	魅力ある市街地の整備	作成課名	都市計画課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	人口減少社会に適応したまちづくりを進めるとともに、日常生活のゆとりや豊かさが実感できるような、魅力あふれる市街地の整備に努める。 本市の一体性を確保するための都市施設や土地利用のあり方を再検討する。 歴史や文化などの地域の特性を活かし、自然と調和した景観づくりを進める。			
	施策の現状と課題	本市は、昭和63年に線引きを廃止して、人口や活力が維持されてきた反面、市街地縁辺部の宅地開発と郊外への大規模小売店舗の立地が進み、スプロール化が顕著になってきた。 そのため、少子高齢社会への対応として、高齢者が暮らしやすく、子どもを育てやすい生活空間の充実という視点が重要となってきており、集約型のまちづくりを進めることが求められている。 今後は、都市施設や土地利用のあり方を再検討し、まちづくりへの市民の参画を促すとともに、歴史や文化などの特性を活かし、魅力あふれる市街地の整備に努めていく必要がある。			
	評価	魅力ある市街地の整備として、都市計画的手法による土地利用の誘導や、景観計画による街並み形成を進めることを目指しているが、行政が直接整備するようなものではなく、誘導していくものであるため、成果が見えにくい部分がある。 最終的には、「地域住民が、自分たちのまちをよくしていきたい」という機運が必要となるため地域における動機づけを根気強く進めていかなければならず今後も継続的な取り組みが求められる。			
施策展開の改善点等	<input type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input checked="" type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない 地域における学習会を開催するなど、積極的に地域住民への働き掛けを行い、まちづくりに向けた機運の醸成に取り組んでいく必要がある。				

指標名		指標に設定した理由					
①	市民の景観への満足度	景観は、それぞれの感じ方であり、満足度による評価が妥当であるため					
②							
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	件	71	72	73	76	
	実績値	件	74.2	71.6	72.2		ふれあいアンケート
	達成度	%	105%	99%	99%		
②	目標値	%					
	実績値	%					
	達成度	%					
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	国土基本図に関する事務		課名	都市計画課	
事業費(千円)	70,000	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	まちづくり計画推進事業(地区計画等)		課名	都市計画課	
事業費(千円)	1,025	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	都市計画変更推進事業		課名	都市計画課	
事業費(千円)	1,540	評価	拡大継続	施策への貢献度	高い
事務事業名	景観計画策定事業		課名	都市計画課	
事業費(千円)	3,300	評価	自然終了	施策への貢献度	高い
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	高城総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	1	魅力ある市街地の整備	作成課名	高城建設課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	本路線は、高城町市街地の中央部に位置する旧国道10号であり、県道三股高城線を起点とする幹線街路である。県道部は平成元年度から事業を開始し、平成15年度で整備を完了している。引き続き平成15年度から市道部の整備を進め高城小学校を経由し高城高校前迄の整備を進めている。円滑な交通と周辺の通学生の安全確保、及び歩道を行き交う人の利便性を確保して安全、安心な街づくりに寄与するものである。			
	施策の現況と課題	平成15年度より市道部の整備に着手し、平成22年度に1工区(高城小前)が完成し、平成23年度より2工区(高城高校前)の整備を開始した。事業費の主なものが用地費、補償費であり、現在用地交渉中であるが、地権者の事業に対する理解、協力が不可欠であり、粘り強い交渉が必要である。			
評価	1工区が平成22年度完成し、平成23年度から2工区の測量・設計に着手した。平成24年度においては、各地権者と用地交渉を進め、道路用地の取得に動めたところである。整備計画に基づいて年次的に事業を進めている。				
施策展開の改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				

指標名		指標に設定した理由					
①	整備率	事業費の進捗割合に効果が明確となる。					
②							
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H27)	参考となる数値等
①	目標値	千円	1,293,929	1,293,929	1,228,085	1,228,085	総事業費(1工区含む) H27年度完了予定
	実績値	千円	873,529	883,969	983,735		
	達成度	%	68%	68%	80%		
②	目標値						
	実績値						
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	合併特例事業(街路整備事業 穂満坊桜木線)		課名	高城建設課
事業費(千円)	99,766	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	高崎総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	建設課
	基本施策	1	魅力ある市街地の整備		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	本地区は、都市計画マスタープランで「地域生活拠点」に位置づけられているが、都市基盤となる道路、公園等の公共施設の整備改善を行い、土地の再編成により密集した既成市街地に公共空間と居住空間を確保し、魅力ある居住環境の形成や災害に強いまちづくりを目的としている。 また、宅地の利用増進及び街区公園等の都市基盤の充実による利便性・快適性の向上により、定住人口の増加や衰退した市街地の活性化等、計画的なまちづくりの推進に大きな役割を担っている。			
	施策の現況と課題	昨年度までに工事、建物移転等のハード事業が完了し、市街地の再編及び魅力ある居住環境の形成が図られ、今年度より換地処分へ向けた事務手続き及び保留地の公売に取り組んでいる。また、並行して実施している街区公園整備も、今年度を目途に完了する見込みとなった。 今後は、地域住民による「まちづくり」に転換するが、人口減少や少子高齢化等の社会情勢の中、新規居住者の増進及び地域活性化に寄与できるか課題である。			
評価	既成市街の住環境の再生整備により、快適で利便性の高い居住空間の創出を行ってきたが、人口減少や少子高齢化、さらには低迷する経済情勢等の中で、住宅戸数の増進については緩やかではあるが増加傾向にある。 公売を予定する保留地の画地整備も完了し、新規居住者の受け入れ体制も整ったところであるが、保留地の公売促進を図りながら、今後ますます定住人口の増加及び地域活性化に向けたまちづくりが期待される。				
施策展開の改善点等	住環境整備は整ったが、人口減少、少子高齢化社会の進行、長引く地域経済の低迷、小売店舗の撤退など、地域活力の低下が危惧される。区域内人口は増加傾向にあるので、地域住民はもとより各種団体との連携により市街地の活性化や地域活力の維持再生が求められる。				
		<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない			

指標名		指標に設定した理由					
①	区画整理地区内居住戸数増進率	区画整理地区内に居住戸数の増減が把握できるため。					
②	全体事業費に対する執行率	事業の進捗状況が端的に表現できるため。					
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	戸	208	208	208	208	208戸
	実績値	戸	177	186	190		従前の建築戸数
	達成度	%	85%	89%	91%		平成8年度
②	目標値	千円	8,485,125	8,485,125	8,485,125	8,485,125	事業完了度
	実績値	千円	7,842,445	8,197,556	8,375,268		区画整理 H27
	達成度	%	92%	97%	99%		街区公園 H25
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	新田土地区画整理事業		課名	高崎建設課
事業費(千円)	27,315	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	高崎総合支所周辺整備事業(1号街区公園外2箇所)		課名	高崎建設課
事業費(千円)	15,970	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		



平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	環境森林部
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	2	住環境の整備	作成課名	環境政策課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	市民が快適に、そして安全・安心に暮らせる住環境の整備のため、生活環境の向上に努める。また、墓地や斎場及びその周辺の整備を進めていく。特に、老朽化が懸念される斎場は、計画的な施設整備、業務の特殊性もあり、火葬炉運転・受付業務の効率性、節減に努めつつ適正に行い、斎場周辺の環境整備も併せて行う。			
	施策の現況と課題	斎場の現況としては、施設の安全性の確保、火葬の受け入れ態勢のスムーズ化及び火葬炉の修繕計画策定をしている。課題としては、高齢化に伴う火葬件数が増加しても受け入れを実施できるように施設・運営面での維持管理や、委託料のコスト縮減を図りながら維持していくことが求められている。また、斎場周辺環境整備の対応が必要である。			
	評価	<p>斎場については、これまで大きな事故もなく、火葬申請に対する受け入れも100パーセント受け入れており、評価できる。また、光熱費については、コスト縮減したが、修繕料については、施設の老朽化に伴い、火葬炉及びハロンガス交換等前年を大きく上回った。</p> <p> <input type="radio"/> 順調である                    <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である                    <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない                    <input type="radio"/> 進んでいない             </p>			
施策展開の改善点等	斎場周辺環境整備については、斎場周辺環境整備推進協議会を中心に実施しているが、一部の地域は、地区公民館の中での活動となっており、将来的には可能な限り地区公民館での整備が望まれる。				

指標名		指標に設定した理由					
①	施設の設備に起因する事故件数	施設の安定的な運営の確保					
②	苦情件数	遺族が安心して火葬を任せられる施設の円滑な運営及び快適性の確保					
③							
目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等	
①	目標値	件	0	0	0	/	
	実績値	件	0	0	0		
	達成度		100%	100%	100%		
②	目標値		0	0	0	/	
	実績値		0	0	0		
	達成度		100%	100%	100%		
③	目標値					/	
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	斎場対策事業		課名	環境政策課
事業費(千円)	1,749	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	都城市斎場管理業務委託事業		課名	環境政策課
事業費(千円)	29,734	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名		課名		
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度		
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名		課名		
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度		
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名		課名		
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度		
評価	今後の展開の在り方			

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	土木部
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	維持管理課 道路公園課 建築課
	基本施策	2	住環境の整備		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	市民が生活の利便性、快適性や安全性を享受できるよう、生活道路の維持を効率的に進め、交流したり憩える場としての公園の維持管理や緑による潤いや安らぎ、季節感を提供してくれる街路樹の管理を行う。 また、高齢者や障がい者、多様化する家族構成に対応した市営住宅の供給に努め、安全で安心して暮らせるよう、違法建築の解消のための建築指導を強化する。			
	施策の現況と課題	日常生活に欠くことのできない生活道路は、市民が安心して通行できるように、交通安全や防災の観点から計画的な整備が求められている。また、道路の舗装や側溝の整備などに対する要望も増加傾向にあり、経費の抑制に努めつつ適正に対応する必要がある。 市内にある約200箇所の公園の維持管理では、草刈、樹木の選定に加えて、施設の破損や落書きの補修などの経費も増加傾向にある。 市営住宅においては、約35%が昭和40年代以前に建てられたものであり、施設の老朽化に伴う計画的な整備と供給が、現在益々重要なものとなってきている。また、建築物の安全性に対する一般市民の関心が高まり、安全性確立を図るための木造耐震診断の普及取組みや行政による建築指導も大切なものとなっている。			
	評価	生活道路については、事務の効率化やコスト縮減を図っているが、増加傾向にある要望が多く対応できない。 公園、街路樹の維持管理については、予定していたことはできた。 市営住宅については、住宅政策と絡めた整備が必要であり、長期にわたり年次均衡性を保った取り組みが必要である。 ○順調である    ○概ね順調である    ●進んでいるが順調とは言えない    ○進んでいない			
施策展開の改善点等	多様化する市民要望の処理率を向上するためには可能な範囲で地域住民の協力が必要であり、地域密着型(住民やボランティアとの協働)の維持管理体制をつくる必要がある。また、道路の老朽化は顕著であり、長期的な更新計画を作成することも重要となる。 施策の展開を川原町に因るためにも、維持補修に要する予算の拡充と安定的な確保により、より安全で安心な市民の生活環境の改善に貢献できる。				

指標名		指標に設定した理由					
①	要望処理率(道路維持補修等)	増加傾向にある要望に対する対応状況が分かる					
②	住戸改善率	市営住宅の維持管理修繕費の軽減を図ると共に、住宅の環境整備をすることにより、安全で安心できる住宅づくりを進める。					
③							
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	%	80	83	80	90	
	実績値	%	86.1	80.2	76.3		
	達成度	%	108%	97%	95%		
	目標値	戸	19	44	72	112	川崎団地36戸 都原団地88戸
	実績値	戸	19	36	48		
	達成度	%	100%	82%	67%		
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	道路台帳管理事業		課名	維持管理課
事業費(千円)	2,026	評価	現状維持	施策への貢献度
				普通
事務事業名	橋梁長寿命化修繕計画策定事業		課名	維持管理課
事業費(千円)	5,690	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	道路維持補修費		課名	維持管理課
事業費(千円)	448,946	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	道路維持補修費(生活関連道路緊急整備事業)		課名	維持管理課
事業費(千円)	123,939	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	街路樹管理事業		課名	道路公園課
事業費(千円)	74,833	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公園維持管理事業		課名	道路公園課
事業費(千円)	189,789	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公営住宅管理事業(工事請負費)		課名	建築課
事業費(千円)	28,215	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公営住宅ストック総合改善事業(工事請負費)		課名	建築課
事業費(千円)	38,437	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公営住宅ストック総合改善事業(住戸改善)		課名	建築課
事業費(千円)	75,626	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	市営住宅整備事業(王子原団地)		課名	建築課
事業費(千円)	89,325	評価	自然終了	施策への貢献度
				高い

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価		今後の展開の在り方		
事務事業名			課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価		今後の展開の在り方		
事務事業名			課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価		今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	山之口総合支所	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	建設課	
	基本施策	2	住環境の整備			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	人が交流する安全・安心のまちづくりを目指して、生活道路や公園の維持、整備改善を計画的かつ効率的に進め、市民の安全性や生活環境の向上に努める。				
	施策の現況と課題	日常生活に欠くことの出来ない生活道路は、市民が安心して通行出来るように幅の狭い道路や見通しの悪い道路の解消に努める一方、老朽化した舗装道路のおうつ解消のために舗装の再整備を進めており、今後も、交通安全や防災の観点から、計画的な整備が求められている。 管内の街区公園については、市民の交流や子育ての場として日常的に利用されている。草刈、樹木の剪定などの維持管理に加えて、心無い利用者による施設の破損や落書きの補修などの経費も増加傾向にあり、適切な公園利用を呼びかけていくことが大切である。				
評価	生活道路の維持補修については、市民からの要望等を考慮しながら、かつ緊急性及び重要性を勘案して実施しおり、所期の目的は概ね達成していると言える。 公園の維持管理は、計画的かつ効率的に進めて市民の生活環境の向上に寄与しており、所期の目的を達成している。					
施策展開の改善点等	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない 特に改善すべき点は見当たらないが、強いて挙げれば生活道路の維持補修については、市民からの要望に全て応えることは出来ない。予算枠の関係から緊急度、重要度、安全性、効果等を見極める必要がある。					

指標名		指標に設定した理由					
①	市道の欠陥による交通事故発生件数	道路利用者に道路欠陥による事故を起こさせない事が、道路管理者としての当然の責務であると考えている。					
	② 公園の欠陥による事故発生件数	公園利用者に公園欠陥による事故を起こさせない事が、公園管理者としての当然の責務であると考えている。					
	③						
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	件	0	0	0	/	なし
	実績値	件	0	0	0		なし
	達成度	%	100%	100%	100%		なし
②	目標値	件	0	0	0	/	なし
	実績値	件	0	0	0		なし
	達成度	%	100%	100%	100%		なし
③	目標値					/	
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	山村定住住宅譲渡事業		課名	山之口建設課
事業費(千円)	2	評価	現状維持	施策への貢献度
事務事業名	公園維持管理費		課名	山之口建設課
事業費(千円)	1,310	評価	現状維持	施策への貢献度
事務事業名	道路維持補修費		課名	山之口建設課
事業費(千円)	44,656	評価	現状維持	施策への貢献度
事務事業名	現年発生公共土木施設単独災害復旧事業		課名	山之口建設課
事業費(千円)	271	評価	現状維持	施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	高城総合支所	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	高城建設課	
	基本施策	2	住環境の整備			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	市民が快適な住環境を形成するために、道路、排水、住宅、交通安全施設等の老朽化による施設の改善や生活環境悪化を抑制するためにも修繕、改修等の整備が必要であり、施設の長寿命化が図られる。				
	施策の現況と課題	公営住宅の生活環境の悪化の抑制、事故防止のため、老朽化した屋根の防水改修、及び外壁のクラック補修、腐食した手摺りの改修等を毎年1棟づつ施工している。課題としては、残る9棟の施工年度までの劣化による事故等が懸念される。道路事故を未然に防ぐとともに、歩行者の安全確保のため、道路維持修繕、交通安全施設の整備、及び歩道の設置を行っている。近年幹線道路の損傷が著しく、修繕費も莫大となっているため、継続、修繕が追いついていない状況である。年次計画を立て整備する必要がある。				
	評価	住宅や道路施設の改修や施設整備については、限られた予算の中で年次的に執行しているが、経年変化による劣化は年々増加の一途であり、社会資本の長寿命化を図るためには、予算の増額は必死である。年次的に施設の修繕、改修を実施し、事故の未然防止に努めている。				
施策展開の改善点等	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					

指標名		指標に設定した理由					
①	事故数(住宅)	事故「0」を目指す。					
②	事故数(道路)	"					
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(一)	参考となる数値等
①	目標値	件	0	0	0	/	住宅瑕疵による事故
	実績値	件	0	0	0		
	達成度		—	—	—		
②	目標値		0	0	0	/	道路瑕疵による事故
	実績値		0	1	1		
	達成度		—	—	—		
③	目標値					/	
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	公営住宅管理運営費		課名	高城建設課
事業費(千円)	22,938	評価	拡大継続	施策への貢献度
				高い
事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業(外壁・手摺改修)		課名	高城建設課
事業費(千円)	18,723	評価	拡大継続	施策への貢献度
				高い
事務事業名	道路維持補修費		課名	高城建設課
事業費(千円)	40,823	評価	拡大継続	施策への貢献度
				高い
事務事業名	臨時地方道整備事業 桜木横手線		課名	高城建設課
事業費(千円)	24,993	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	交通安全対策特別交付金事業		課名	高城建設課
事業費(千円)	3,910	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	臨時地方道整備事業 横枕鳥井前線(旧三條幹線北通線)		課名	高城建設課
事業費(千円)	11,055	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名	4		課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		



平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	山田総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	2	住環境の整備	作成課名	建設課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	市営住宅の適正な管理と計画的な整備に努め、市民が安全で安心できる住宅の供給を図る。 また、生活道路の整備改善を計画的かつ効率的に進め、市民の安全性や生活環境の向上に努める。			
	施策の現況 と課題	市営住宅の約40%は築30年を経過し、建物の老朽化に伴う計画的な整備と家族構成に多様化に対応した住宅の供給が求められている。 また、日常生活に欠くことのできない生活道路は、市民が安心して通行できるように幅の狭い道路や見通しの悪い道路の解消に努めるとともに、交通安全や防災の観点から計画的な整備が求められている。 さらに、近年は道路の舗装や側溝の整備などに対する要望も増加傾向にあり、経費の抑制に努めつつ対応していく必要がある。			
評価	山村定住住宅(長谷団地7戸・方ヶ塚団地20戸)については、平成18年度より譲渡開始、一部の入居者を除き概ね順調に進捗し平成24年度で27戸を全て譲渡することができ、約100名の定住を実現できた。 生活関連道路緊急整備事業(大古川・牛之腰線)については、計画的に整備を進め、平成25年度で完了する予定である。 道路維持補修については、優先順位を決め計画的かつ効率的に維持補修することにより、市民からの要望に概ね対応することができた。				
施策展開の 改善点等	道路の舗装や側溝の整備に対する要望は増加傾向にあり、緊急性や優先順位を判断し、経費抑制に努めつつ計画的に実施する。				
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				

指標名		指標に設定した理由					
施策指標	① 譲渡予定戸数に対する譲渡戸数	実績が端的に表現できる					
	② 道路整備計画延長に対する整備延長	実績が端的に表現できる(大古川・牛之腰線)					
	③ 道路補修要望件数に対する実施件数	実績が端的に表現できる					
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
	① 目標値	戸	0	2	1	/	
	実績値	戸	0	2	1		
	達成度	%		100%	100%		
	② 目標値	m	5,540	5,540	5,540	/	
	実績値	m	1,552	3,047	4,739		
	達成度	%	28%	55%	86%		
	③ 目標値	件	52	204	178	/	
	実績値	件	52	153	114		
達成度	%	100%	75%	64%			

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	山村定住住宅譲渡事業		課名	山田建設課
事業費(千円)	145	評価	自然終了	施策への貢献度
				高い
事務事業名	道路維持補修事業		課名	山田建設課
事業費(千円)	29,562	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業(3階建外壁改修)		課名	山田建設課
事業費(千円)	8,195	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	道路維持補修費(生活関連道路緊急整備事業)大古川・牛之腰線		課名	山田建設課
事業費(千円)	24,995	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	高崎総合支所	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	建設課	
	基本施策	2	住環境の整備			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	安全で市民生活に密着した道路・公園・市営住宅等の公共施設の維持管理を適切に行ない、災害の防止と利用者の安全性・利便性を図る。				
	施策の現況と課題	道路は、市民生活には欠かせないものとなっているが、老朽化が進み、交通事故が予想される危険箇所も多く、歩行者や運転者が安全で安心できる道路環境づくりが求められている。 さらに、近年は道路の舗装や側溝の整備などに対する要望も増加傾向にあり、経費の抑制に努めつつ対応していく必要がある。 また、市営住宅の約半数は築30年を経過し、建物の老朽化に伴う計画的な整備と家族構成に多様化に対応した住宅の供給が求められている。				
	評価	道路に関する要望処理率がやや低かったものの、緊急性の高い箇所から優先的に整備することで市民からの要望に概ね対応することができた。 市営住宅の修繕については、優先順位を決め修繕対応することにより、市民からの要望に概ね対応することができた。公園施設の要望は年々減少傾向にあるもの施設の維持管理は重要である。				
施策展開の改善点等	維持管理に要する予算を確保することにより、安全で安心な市民の生活環境改善にも貢献できる。					
<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない						

指標名		指標に設定した理由					
①	道路に関する要望処理率	維持管理の成果の指標となるため					
②	公園施設に関する要望処理率	公園整備効果の指標となるため					
③	要望件数に対する実施率	実績が端的に表現できる					
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	件	133	75	103	/	
	実績値	件	97	51	53		
	達成度		73%	68%	51%		
②	目標値	件	15	15	15	15	
	実績値	件	12	7	4		
	達成度		80%	47%	27%		
③	目標値	件	90	90	90	/	
	実績値	件	56	85	63		
	達成度		62%	94%	70%		

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	街路樹管理事業		課名	高崎建設課
事業費(千円)	3,156	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公園維持管理費		課名	高崎建設課
事業費(千円)	19,347	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公営住宅環境整備事業(修繕)		課名	高崎建設課
事業費(千円)	2,500	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	山村定住住宅譲渡事業		課名	高崎建設課
事業費(千円)	5,127	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	道路補修費		課名	高崎建設課
事業費(千円)	46,784	評価	現状維持	施策への貢献度
				普通
事務事業名	交通安全対策特別交付金事業		課名	高崎建設課
事業費(千円)	2,999	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	高崎総合公園環境整備事業		課名	高崎建設課
事業費(千円)	1,741	評価	拡大継続	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公営住宅環境整備事業(工事)		課名	高崎建設課
事業費(千円)	10,742	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	ストック総合活用事業		課名	高崎建設課
事業費(千円)	2,554	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	現年発生公共土木施設単独災害復旧事業		課名	高崎建設課
事業費(千円)	5,042	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			



平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	土木部	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	下水道課	
	基本施策	3	上下水道の整備			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	下水道施設の建設、改築更新、維持管理を行うことで市街地における生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図ることを目的とする。 平成29年度までに事業認可区域1,836.3haが公共下水道を利用できるようにする。				
	施策の現況と課題	平成24年度末で1,660.1haの区域が公共下水道を利用できる状況となっており、残り176.2haの整備を平成29年度までに完成させる予定である。 姫城、妻ヶ丘、小松原地区などを処理区域とする中央処理区は昭和47年から供用を開始しており、下水道施設の老朽化対策が急務となっている。				
	評価	公共下水道事業は、普及率、面整備率から見て順調に進捗している。また、処理場からの放流水質も良好であり、公共用水域への負荷もほとんどない。				
施策展開の改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					

指標名		指標に設定した理由						
①	公共下水道普及率	都城市生活排水対策総合基本計画との整合性を図るための指標である。これは市内の人口のどのくらいの人が公共下水道を利用できるのかを表している。						
②	面整備率	下水道建設事業の進捗状況を示す指標である。これは事業の最終年度が事業認可により定められており、現状の進捗率を表している。						
③	放流水安全率	放流水質の安全性を示す指標である。処理場から河川へ放流される処理水の水質(BOD)が下水道法で定める基準値内であることを表している。						
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等	
指標	目標値	%	41.1	41.5	42.7	47.6	47.6	
	実績値	%	43	44	44.5	/	事業認可の目標値	
	達成度	%	105%	106%	104%		平成29年度	
	目標値	%	86.8	87.8	89.9	100	100	
	②	実績値	%	88.7	89.9	90.4	/	事業認可の目標値
	達成度	%	102%	102%	101%	平成29年度		
③	目標値	%	100	100	100	100		
	実績値	%	100	100	98	/		
	達成度	%	100%	100%	98%			

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	中央終末処理場維持管理費(補修)		課名	下水道課
事業費(千円)	13,867	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	清流館維持管理費(補修)		課名	下水道課
事業費(千円)	20,547	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共下水道事業(中央終末処理場等機器更新・補助一般)		課名	下水道課
事業費(千円)	128,330	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共下水道事業(管渠・補助一般)		課名	下水道課
事業費(千円)	136,141	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共下水道事業(樹蓋布設替・補助一般)		課名	下水道課
事業費(千円)	5,188	評価	事業目的・手段の見直し	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共下水道事業(管渠改築更新・補助一般)		課名	下水道課
事業費(千円)	33,476	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共下水道事業(合流式下水道緊急改善事業・補助一般)		課名	下水道課
事業費(千円)	11,970	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共下水道事業(管渠埋設・起債単独)		課名	下水道課
事業費(千円)	43,932	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共樹布設事業		課名	下水道課
事業費(千円)	32,761	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			

平成25年度 施策評価

施 策 の 内 容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	山之内総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	建設課
	基本施策	3	上下水道の整備		
	施策の目的 (取り組みの 方向性)	公共下水道等については、投資効果を考慮しながら、或いは処理区域に基づきながら、適正な生活排水処理を普及させ、生活環境の改善と水質保全に努める。その目的のためには、新築等に伴う公共樹の新設、本管を埋設している道路舗装路面の補修等を迅速に実施する必要がある。			
	施策の現況 と課題	公共下水道等は、生活環境を改善し、また河川や海などの水質を保全するために重要な基盤整備であり、計画的に整備を進めてきた。今後は、施設の老朽化と耐震化に対処することが求められている。 課題は、イニシャルコストが高い分如何に早く接続率を伸ばすかであり、使用料収入を高めさせ、投資効果を発揮し特別会計の基本である健全経営に導くかである。			
評価	下水道公共樹設置事業は、公共下水道山之内処理区域内の新築等に伴う公共樹の新設が目的で、全要望箇所について対応しており、所期の目的を達成していると言える。 山之内地区建設事業は、管内の麓、中原正近、下富吉地区の3箇所の農業集落排水処理区域内の新築等に伴う公共樹の新設及び占用物件である道路舗装路面の補修等が目的で、全要望箇所について対応しており、所期の目的を達成している。				
施策展開の 改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
	特に改善すべき点はないが、強いて挙げれば新築等に伴う公共樹の新設は、まとめて発注した方が効率が良い。 しかしながら、新築等の排水設備工事の時期を合わせることは、施主、工事業者の理解を得るには無理がある。現段階では、今のスキームによるしかないと思料している。				

指標名		指標に設定した理由					
①	公共下水道接続率	効率性と効果を表すポピュラーな指標であり、既存の公共樹への接続もカウントされ事業独自の指標とは成り得ないが、対外的にも有効な指標である。					
②	農業集落排水接続率	効率性と効果を表すポピュラーな指標であり、既存の公共樹への接続もカウントされ事業独自の指標とは成り得ないが、対外的にも有効な指標である。					
③							
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	%	60.0	62.0	64.0	74	78.5
	実績値	%	62.4	65.4	68.0		市内平均
	達成度	%	104%	105%	106%		平成24年度
②	目標値	%	76.2	76.6	77	79	72
	実績値	%	77	77.8	79		市内平均
	達成度	%	101%	102%	103%		平成24年度
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	下水道公共樹設置事業		課名	山之内建設課
事業費(千円)	287	評価	現状維持	施策への貢献度
高い				
事務事業名	山之内地区建設事業		課名	山之内産業振興課
事業費(千円)	1,449	評価	現状維持	施策への貢献度
高い				
事務事業名	山之内地区管理費(UPS交換修繕)		課名	山之内産業振興課
事業費(千円)	683	評価	自然終了	施策への貢献度
高い				
事務事業名				
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名				
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名				
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名				
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名				
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名				
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の 在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の 在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の 在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	高城総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	産業振興課
	基本施策	3	上下水道の整備		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	総合支所管内の農業集落排水施設を運営管理している中で経年変化等による劣化及び器具の不具合の危機的状況を回避するために計画的な修繕を実施し、加入者への安定的な施設運営を図る。			
	施策の現況と課題	処理施設の気層部で発生する硫化水素によるコンクリート層及びポンプ等の劣化、経年経過による制御システムの部品調達になるための交換に多額の費用を要するため計画的に実施し危機的状況の回避と予算の平準化を図る。H24年度分はH23年度に前倒し施工により、事業は無かったが、優先順位を考慮して他地区の排水施設の整備を進めている。			
評価	市全体で優先順位を決めての施設修繕であることから、全体的な経費節減及び非常事態の回避に繋がること、及び効率的な施工により安心安全な運転管理が可能となる。				
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
施策展開の改善点等	当初計画では、一期として26年度完了を目標設定したが、機械器具の修繕は、費用が大きく、達成に期間を要すること、又市内には同様の施設が多数あることから、市全体の施設修繕の優先順位を考慮して、限られた予算の中で修繕しているため、整備に時間がかかる。				

指標名		指標に設定した理由					
①	施設修繕率	施設修繕の終期は未定であるため、29年度末を100%と仮定した場合、累計修繕費で、安定的な運転管理が可能となり整備の効果が判断できる。					
②							
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値			4,777	4,777	4,777	H22～H29 修繕費計
	実績値		0	2,356	2,356		累計修繕費
	達成度			49%	49%		
②	目標値						
	実績値						
	達成度						
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	高城地区管理費(3地区の農業集落排水施設の修繕)		課名	産業振興課	
事業費(千円)	0	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名			課名		
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	山田総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	産業振興課
	基本施策	3	上下水道の整備		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	農業集落排水事業は、農業用排水の水質保全、農村生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的に、汚水の処理施設を整備をする。 簡易水道施設整備事業(上是位川内・池之原地区簡易水道施設・古江地区営農飲雑施設)は、住民の健康な生活を維持するために、安定した健全な水の供給を図る施設を整備する。			
	施策の現況と課題	農業集落排水事業区域内における、新築・増改築家屋の農業集落排水施設への接続率は100%であるが、既存家屋においての接続率は低迷しており、農業集落排水施設の設置意義について、住民の理解を得なければならない。 また、簡易水道施設整備について、上是位川内・池之原地区簡易水道施設の水源地は、24年度のボーリング調査により確保出来たが、今後、事業認可・実施設計等を経た上での事業実施となる。 なお、集落排水施設竹脇地区処理場のシーケンサ交換及び古江地区営農飲雑施設の整備は24年度で完了した。			
評価	農業集落排水事業では、新築・増改築家屋において申請のあった公共枮について、家主(施工者)の意向を確認し速やかに設置しており、概ね順調である。 上是位川内・池之原地区簡易水道施設については、今後、事業認可等の手続きを完了した上での事業実施となる。 古江地区営農飲雑施設は、平成25年4月に水道局に移管済。				
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
施策展開の改善点等					

指標名		指標に設定した理由					
①	公共枮設置数	実績を端的に表現できる					
②	総事業費に対する実施率	実績を端的に表現できる					
③	年度事業の実施率	実績を端的に表現できる					
①	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
	目標値	箇所	5	5	5	5	予想される公共枮設置の要望数
	実績値	箇所	0	2	2		
	達成度		0%	40%	40%		
	目標値	千円	—	—	275377	平成29年度事業終了予定	総事業費
	実績値	千円	—	—	6880		
②	達成度				2%		
	目標値	件	—	2	7	—	発注件数
③	実績値	件	—	2	7		
	達成度			100%	100%		

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	山田地区建設事業(公共枮設置工事)		課名	山田 産業振興課
事業費(千円)	1,926	評価	現状維持	施策への貢献度
事務事業名	山田地区管理費(シーケンサ交換修繕)		課名	山田 産業振興課
事業費(千円)	4,200	評価	自然終了	施策への貢献度
事務事業名	上是位川内・池之原地区簡易水道施設整備事業		課名	山田 地域振興課
事業費(千円)	6,880	評価	現状維持	施策への貢献度
事務事業名	営農飲雑施設整備事業(古江地区)		課名	山田 産業振興課
事業費(千円)	40,873	評価	自然終了	施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	高崎総合支所	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	建設課	
	基本施策	3	上下水道の整備			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	生活様式の変化により公共用水域は水質汚濁の兆しをみせており、安全で快適な住環境、農業生産活動を脅かす恐れがある。大淀川推計の水質改善を図る目的で、旧北諸郡5町で船団方式下水道として事業を開始している。				
	施策の現況 と課題	下水道本管布設時には農地等であり建築未定地であったため、公共樹を設置していない。その後の状況の変化によって建築される場合、本管より宅地内への公共樹の設置は行政が行うべきものである。建築行為者により申請及び要望があった場合に迅速に対応することにより下水道普及の拡充を図れる。水洗化最終目標率(98%) H29年度末目標78.3%				
評価	水洗化率向上のため、広報や戸別訪問により下水道への接続の啓発活動を行っていく必要がある。					
施策展開の 改善点等	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					

指標名		指標に設定した理由					
①	下水道整備率	処理認可面積に対し整備済み面積を示すものである。					
②	水洗化率	生活環境の改善を示すものである。					
③	公共樹設置率	申請に対する達成率が確認できる					
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	%	97.86	99.59	100	100	138.4ha
	実績値	%	97.86	99.59	100		
	達成度		100%	100%	100%		
②	目標値	%	66.3	68.6	70.6	78.3	
	実績値	%	57.34	55.74	57.54		
	達成度		86%	81%	82%		
③	目標値	箇所	883	893	903	953	970箇所
	実績値	箇所	745	769	895		
	達成度		84%	86%	99%		

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	公共下水道事業(補助事業)		課名	高崎建設課
事業費(千円)	1,797	評価	自然終了	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共下水道事業(起債単独事業)		課名	高崎建設課
事業費(千円)	8,448	評価	自然終了	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共樹布設事業(高崎処理区)		課名	高崎建設課
事業費(千円)	300	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	公共下水道台帳管理事業(高崎処理区)		課名	高崎建設課
事業費(千円)	943	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方			



平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	水道局	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	工務課	
	基本施策	3	上下水道の整備			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	水道事業は、基本理念の「活力あるまち」において、経営の健全化を進めつつ、安全で良質な水の供給を図ることにより、「人が交流する安全・安心のまちづくり」の一翼を担っている。 水道は市民の生命を守るライフラインのうちでも最も重要なもののひとつである。水道局では「健全で持続可能な水道」、「安心な水道」、「いつでもどこでも使える水道」等を基本目標として、安全・安心な水道水の安定供給に努めるとともに、健全な水道事業の運営・構築を目指している。				
	施策の現況と課題	水道局では、合併に伴って新たに「都市水道ビジョン」を策定し、同時に水道施設の整備計画を策定して、上下水道事業、簡易水道事業等に取り組んでいる。水道事業の今後の課題としては、良質な水の安定供給を目的とした継続的な水源開発、また、危機管理の観点から、平常時や災害時を問わず「命の水」を安定的に供給するため、管路を含めた水道施設の耐震化対応が必要となっている。また、水道施設のほとんどは、供用開始から40年以上が経過し、いずれの施設も更新の時期を迎えており、老朽管布設管を含む水道施設の更新が喫緊の課題となっている。多数の既存施設の維持管理を行いながら新規の施設整備を行っていく必要があり、今後、資本費の大幅な増加が見込まれるところである。				
	評価	配水管整備事業、及び老朽管更新事業については、他部局の工事との同時施工により工事費縮減を図りながら、計画的に整備・更新を行い浄水場等整備事業では、安全で効率的な施設運用の為に、設備の耐用年数等を考慮しながら、施設の整備・更新を行った。 なお、水源開発事業については、水質及び水量の両方か、或いはそのいづれかを満足しなかったケースもあったが、今後も、都市市の水道事業の安定的運用に必要不可欠な新規水源について、より効率的に確保できるように、水源開発の手法等についても検討を重ねたい。				
施策展開の改善点等	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					

指標名		指標に設定した理由					
①	老朽管(石綿セメント管)布設替	漏水の原因となる老朽管(石綿管)の布設替を計画的に実施しており、その進捗状況を表すものである。					
②	基幹管路の耐震化	災害発生時において、「命の水」となる水道水の安定供給を確保するため、管路の耐震化に取り組み、その進捗状況として主要管路における耐震化の整備状況を表すものである。					
③							
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	km	6.0km	6.0km	6.0km	/	
	実績値	km	6.0km	4.3km	8.4km		
	達成度	%	100%	72%	100%		
②	目標値	km	2.0km	2.0km	2.0km	2.5km	
	実績値	km	1.0km	1.8km	2.1km		
	達成度	%	50%	90%	100%		
③	目標値					/	
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	高野簡易水道公営化事業(保健衛生総務管理費)	課名	工務課	
事業費(千円)	9,998	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	御池簡易水道建設事業	課名	工務課	
事業費(千円)	44,783	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	水源開発事業	課名	工務課	
事業費(千円)	30,036	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	浄水場等整備事業	課名	工務課	
事業費(千円)	26,184	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	配水管整備事業	課名	工務課	
事業費(千円)	12,871	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	簡易水道統合事業(田辺地区)	課名	工務課	
事業費(千円)	101,760	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	上水道事業(浄水場等整備事業)	課名	工務課	
事業費(千円)	117,803	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	上水道事業(水源開発事業)	課名	工務課	
事業費(千円)	40,348	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	上水道事業(配水管整備事業)	課名	工務課	
事業費(千円)	350,180	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名	上水道事業(老朽管更新事業)	課名	工務課	
事業費(千円)	232,817	評価	現状維持	施策への貢献度 高い

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		

